6　試験と成績評価について

6-1 試験の種類

履修した授業科目の単位を修得するためには、原則として試験を受けて合格の評価を得なければなりません。担当教員から試験に代えてレポートや作品提出の指示があるときは、それに従ってください。

1．試験の種類

試験には、定期試験、追試験、再試験があります。

定期試験　定期試験は、原則として前期、後期の各期最終授業日に実施されます。ただし、担当教員が必要と認めたときは、随時に試験が実施され、この試験をもって定期試験に代えることがあります。定期試験のための試験時間割は特に組まず、担当教員の判断のもとに行われます。

追 試 験　病気や災害、交通機関の遅延、忌引などの正当な理由により、定期試験（随時に実施される試験を含む）を受けられなかった者は、当該試験日を含む３日以内（ただし事務局非業務日を含めない）に教務課に連絡し指示を受けてください。あわせて、定期試験終了後１週間以内に、その理由を証明する書類を添え、追試験受験願を教務課に提出し、担当教員の許可があった場合に、追試験を受けることができます。追試験の受験にあたっては、受験料（１科目2,000円）が必要です。

欠席理由とそれを証明するための提出書類は次のとおりです。

欠席理由	提出書類
病気	医師の診断書または学校感染症に該当する場合、学校感染症治癒証明書
交通機関の遅延	当該交通機関の発行する遅延証明書
交通事故	事故証明書
親族の死亡・危篤	保護者や保証人の証明書またはこれに準ずるもの
就職試験	受験票の写しまたは受験先証明書
天災その他の災害	罹災証明書
その他止むを得ない理由	理由書

再 試 験　進級時に進級要件を満たさなかった者及び卒業学年終了時に卒業要件単位を満たさなかった者のうち、下記の全ての条件を満たした場合、特別に再試験の受験が認められます。（「再試験受験申請書」の提出が必要）

- 卒業研究科目全てが合格していること（卒業時のみ）
- 進級要件または卒業要件に不足している単位数が１科目分であること
- 再試験対象科目の担当教員が、再試験の受験を認めていること

なお、再試験対象科目は本学開講科目で当該学期及び前学期に履修登録した科目のうち１科目に限ることとします。再試験の受験にあたっては、受験料（2,000円）が必要です。

2．受験資格

①　学費を納入していること。

②　履修登録をしていて、授業ごとに決められた出席等要件を満たしていること。

※出席不良や学習意欲に欠けるなどの理由で、担当教員が受験を認めない場合があります。

3．受験上の注意

①　試験を受ける際は、学生証を机の上に提示してください。

②　原則として、遅刻は試験開始後20分まで、また、途中退室は試験終了前20分から認めます。ただし、担当教員の判断でこの時間は変更することがあります。

③　その他、試験場では、試験監督者の指示に従ってください。

4．レポートの提出について

授業でレポート課題が課された場合、レポートの提出前に、必ず手元に記録（写し又はデータ）を残し、形式要件、誤字・脱字の有無を確認のうえ、提出してください。

提出先として事務局内に設置しているレポート受領ボックスにレポートを提出する場合は事務局窓口時間内に限られますので、締め切りに注意してください。

また、データでの提出の場合は、データ容量や形式を確認のうえ、指定された提出方法、期限を守り提出してください。（提出後に、再度、適切に提出されているか確認することをお勧めします）

5．不正行為

⑴　不正行為について

下記のいずれかに該当する行為は不正行為とみなします。

①　レポートや作品提出の場合

・他人の作成した文書やレポート、他人が作成した作品等を自ら作成したものとして提出すること。（例：他人のデータをそのままコピーして提出すること、インターネット上の画像や文章など、引用を明示せずにそのまま利用すること等。）

②　定期試験、追試験、再試験の場合

・予め用意した模範回答（カンニングペーパー）や他人の答案などを見ること及び他の学生に自分の答案をみせること。

・本人以外の者が、代わって受験すること。

・許可のないものを使用すること。

・私語を交わすこと及び試験中に物の貸し借りをすること。

・監督者の指示及び注意に従わない行為をすること。

⑵　不正行為に対する処分

不正行為が確認された場合には、当該科目も含めその学期に履修したすべての科目を原則不合格とします。

あわせて、不正行為は学則第47条に基づいて懲戒処分の対象となります。

6-2 成績評価

成績の評価は、担当教員の授業方針、評価方法によって異なりますが、試験、レポート・作品提出、授業出席の状況、その他に基づいて行われます。

パレットに掲載のシラバスに、個々の授業科目について「学生に対する成績評価基準」として、その詳細が記載されています。

1. 成績評価基準について

本学における授業科目

判定	評価	評点	評価基準	GP
合格	S	100点～90点	授業の達成目標を上回る優れた成果を成し遂げた	4
	A	89点～80点	授業の達成目標を十分に達成した	3
	B	79点～70点	授業の達成目標を概ね達成した	2
	C	69点～60点	授業の達成目標を最低限達成した	1
不合格	D	59点以下	授業の達成目標を達成できなかった	0

Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃの評価を得た者を合格とし、単位を授与します。

編入学生及び転学科生の認定された単位等については、「認」と表示され、ＧＰＡの算出には含まれません。

2. GPAについて

教員と学生両者がより明確に成績や成績の変化、傾向を把握することにより履修計画、履修指導の適切化を図るため、ＧＰＡ制度を導入しています。ＧＰＡとはGrade Point Averageの略で、成績評価にＧＰ（Grade Point）と呼ばれる点数を付与し、当該期に履修した各科目のＧＰにその科目の単位数を乗じたものの合計を、履修登録した科目の総単位数で割って算出する平均値をさします。

Ｄ評価もＧＰＡの算出に含みますので、慎重に履修計画を立て、履修登録した科目には責任を持って取り組んでください。

【GPAの算出式】

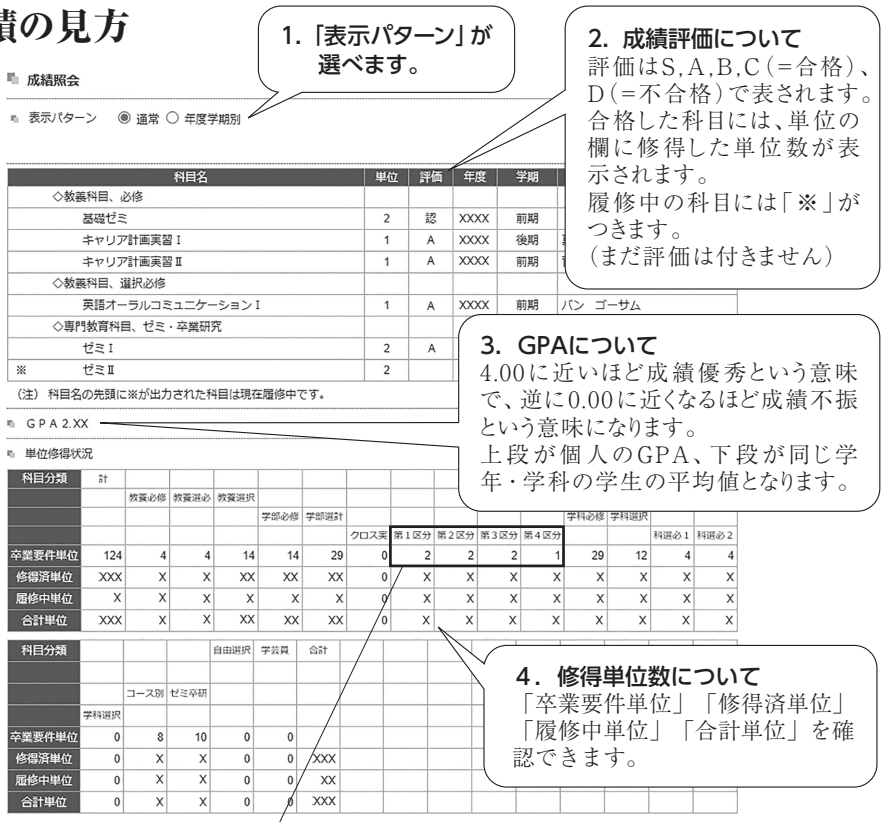
$$\frac{4\times\text{Sの修得単位数}+3\times\text{Aの修得単位数}+2\times\text{Bの修得単位数}+1\times\text{Cの修得単位数}}{\text{総履修登録単位数（「D」の単位数を含む）}}$$

【GPA算出例】

授業科目名	単位数	評価（GP）	単位数× GP
美術論	２単位	S(4)	2×4＝8
英語中級Ｉ	２単位	C(1)	2×1＝2
美術・工芸特別講義	１単位	B(2)	1×2＝2
写真	４単位	A(3)	4×3＝12
広告論	２単位	D(0)	2×0＝0
	①11単位		②24

GPA＝②÷①　→　24÷11＝2.18

6-3 成績の見方



6-4 成績通知

成績は、パレットの「成績照会」機能から確認してください。また、特別な事情による申し出のない限り、本学規定に基づき、学生本人の承諾を得たものとみなし、パレットにて前期は9月上旬、後期は2月下旬頃に保証人に通知します。

＊保証人には、あらかじめ専用のパレットのID・パスワードを通知し、各自でパレットにログインをして確認してもらいます。

6-5 成績評価に対する異議申立て

シラバス等により学生に周知している達成目標及び成績評価の方法に照らして明らかに成績が誤りであると思う場合は、教務部長に対し異議を申立てることができます。

次の要領で手続きを行ってください。

手続き方法等

(1) 異議申立期間は、当該科目の成績開示日から3日以内（日曜日、土曜日及び祝祭日は含めない）です。

(2) 「成績評価についての異議申立書」はパレット－お役立ち情報－各種書式 よりダウンロードできます。所要事項を記入し、添付書類とともに期限内に教務課へ提出してください。担当教員への直接の異議申立ては認めません。

※添付書類に、異議申立内容の根拠について示されていないもの、不備のあるものは受け付けできません。また、異議ではなく「お願い」は受け付けできません。

(3) 異議申立書を受理した日から原則として2週間以内に、当該異議申立の結果を文書で回答します。

(4) 成績評価に対する異議申立て期間等に関する詳細については、各学期の成績通知時にパレットに掲示します。

6-6 留年

進級要件を満たさなかった者及び第４学年終了時に卒業要件を満たさなかった者は、留年になります。また、休学等により所属年次における在学期間が１年に満たない者は、留年になります。

6-7 履修指導

それぞれの志向や進路希望に応じて、入学時から段階的、系統的に履修できるよう適切な助言・指導を行うため、ホームルーム編成を行います。みなさんの希望や必要に応じて随時履修指導を行いますので、ホームルーム担任に相談してください。

なお、教務課においても相談に応じます。履修登録、成績通知時はもちろん、心配な点や疑問点は気軽に相談してください。

事務局窓口対応時間	8：30 ～ 17：00
メール	gakumu@nagaoka-id.ac.jp
電話	0258 － 21 － 3351

※土曜・日曜・祝日・校舎閉鎖日は終日窓口業務および電話対応は行っていません。

6-8 授業評価アンケート

履修している授業について、授業の理解度や興味・関心、また、授業の改善点、要望などを学生の目線にて率直に把握するために、各学期末に科目ごとに授業評価アンケートを実施しています。

学生のみなさんの声が、よりよい授業運営につながりますので、必ず回答してください。

回答はパレットの「授業評価アンケート」にて、行ってください。

（その他、科目により回答方法が異なる場合は別途パレットにて連絡します）